



同窓会だより

同窓会だより

副会長 野内 昭 宏

2020年1月に日本上陸が確認されて以降、猛威を振るった新型コロナ感染症。罹患した人もいなかった人も、間違いなく歴史の証人になった出来事でしたが、昨年5月8日より感染症法上の5類感染症に移行して、それと同時にあらゆる活動が（感染予防を徹底した上で）以前の状況に急速に戻りつつあります。当同窓会もそれに則り、可能な限り以前の状況に戻りつつあります。

しかし、当会会員（歯学部卒業生）は、約3分の1は新潟県内、約3分の1は首都圏を含む上越新幹線沿線、残り3分の1はその他の全国各地にいらっしやいますので、どこか1カ所に集まることは現実的には非常に困難です。ZOOMを始めとしてICTで瞬時に繋がる方法も知ってしまった現在、両者を併用しながら、情報交換等を密に行っています。

まずは慶事の報告から。

山本武夫先生（歯学科7期生）が春の叙勲で瑞宝双光章を受章され、その祝賀会が9月9日に開催されました。（写真1）また、この原稿執筆中に、秋の叙勲で松田安雄先生（歯学科4期生）が

瑞宝双光章を受章されたという朗報が来ました。当会からも祝意を表させていただきました。

ここ最近、叙勲を始めとして各種表彰を受ける会員が多くいらっしやいますが、その多くが地域歯科医療と密接に関連したものです。地域包括ケアシステムや地域完結型医療を展開していく上で、歯科医療と地域との関わりは非常に重要です。それに関わる会員が多くいらっしやることは、歯科保健や公衆衛生、社会福祉の増進に少なからず寄与しているものと思われま

す。9月17日、新潟大学歯学部同窓会支部長会議が開催されました。この会議は3年に一度行っており、前回の2020年はオンラインでの開催でしたが、今回はハイブリッド（新潟+オンライン）会議で行いました。連休の中日での開催でしたが、19支部中12支部と多くの支部長にご参加いただきました。

前述の通り、当会会員は全国各地にいらっしやいます。その地域の会員同士のコミュニケーションはもちろんのこと、地域を超えて会員全員とのコミュニケーションもまた重要です。コロナ禍で滞った活動から、各支部とも徐々にではあるが活動を再開し始めているとの様子や、同窓会の今後の活動についてのご意見など活発に情報交換を行いました。（写真2）



写真1 山本先生の叙勲祝賀会



写真2 支部長会議



また、当会は、新潟大学全学同窓会を始めとして、あらゆる組織の構成メンバーの一員となっています。(写真3, 4) そちらとの情報交換や交

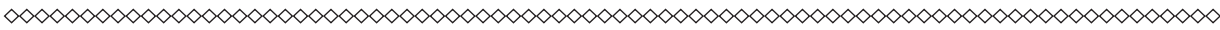
流も活発に行っています。今後も内外あらゆるチャンネルを通じて、SDGsを考慮した活動を行っていきます。



写真3 全国歯科大学同窓・校友会懇話会



写真4 新潟大学 全学同窓会交流会



2023年度新潟大学歯学部同窓会学術セミナー 2 「歯科衛生士によるプロフェッショナルケアの有効性」を受講して

口腔生命福祉学科15期生 渡部彩花

今回のセミナーでは、歯科衛生士によるプロフェッショナルケアの具体的な手法を学ぶとともに、歯科衛生士の役割は何かを改めて考えるきっかけとなりました。

私は今、行政歯科衛生士として市民の健康を守るため日々業務に励んでいます。今回のセミナーのテーマにあります歯科衛生士のプロフェッシ

ナルケアに関しては、仕事柄、自分自身が行う機会は少ないですが、歯科保健事業を担う中で、現場での歯科衛生士の実際についても学ぶことができればと思います、受講させていただきました。セミナーでは、小児齲蝕予防におけるフッ化物応用やシーラントについて、また、根面カリエス管理におけるフッ化物応用など乳幼児から高齢者までそれぞれの世代に対応した歯科衛生士のプロフェッショナルケアの実際について学ぶことができました。学生時代に学んだ事柄についても改めて理解を深めることができ、とても貴重な時間となりました。

セミナーの中での「口腔の健康なくして全身の健康は語るできない」という言葉がとても



印象に残っています。「健康」と言われると、口腔の健康はほんの一部のように感じますが、口腔が健康でなければ、野菜やお肉などバランスの良い食事をするのが難しくなりますし、口腔が不健康であることで全身に悪影響を及ぼす可能性もあります。歯科衛生士は、この口腔の健康の大切さを市民や患者へ伝え、さらに、自ら口腔の健康を守るための行動ができるよう歯科保健指導を行なっていく必要があると感じました。

今後、日本人の平均寿命が伸びていく中で、健康寿命との差をどれだけ縮小できるだろうかと考えることがあります。健康寿命の延伸に、口腔の健康がどれほど貢献できるのかはわかりませんが、全身の健康を支える大切な一つであると心に留め、今後も市民の健康を守るため歯科保健に取



講演中の葭原教授

り組んでいきたいです。

最後になりますが、このような貴重な機会を提供して下さった同窓会の皆様、講師の葭原明弘先生に感謝申し上げます。

